

研究・調査報告書

報告書番号 5 5	担当 滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Relation between Total Homocysteine Levels and Beer Intake in Patients with Diabetes mellitus Type2. 2型糖尿病患者における総ホモシステイン値とビール摂取量との関係	
執筆者 de Luis DA, Fernandez N, Aller R, De Luis J, Arranz M, Izaola O.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Ann Nutr Metab, 2003; 47(3-4): 119-23	
キーワード	
Beer, Diabetes mellitus, Homocysteine ビール、糖尿病、ホモシスチン	
要 旨	
<p>背景/目的：2型糖尿病における高ホモシステイン血症の重要性を評価する上では腎機能障害、ビタミン摂取状況、生活習慣を多角的に考慮する必要がある。この研究ではマクロおよびミクロの栄養摂取とホモシステイン値との関係について調査することを目的とした。</p> <p>方法：Diabetes Service に登録している2型糖尿病の患者155人（女性90人、男性65人）について調査した。全ての患者の空腹時ホモシステイン値、HbA1c、血糖値、ビタミンB12、葉酸値を測定した。尿蛋白は24時間尿で測定した。患者には3日間の食事を、フードスケール・モデルを使って、正確な量がわかるよう具体的に記録してもらった。飲酒、運動、喫煙習慣も記録した。</p> <p>結果：平均ホモシステイン値は $10.5 \pm 4.3 \mu\text{mol/l}$、平均血糖値は $9.5 \pm 3\text{mmol/l}$、平均 HbA1c 値は $7.8 \pm 1.4\%$ であった。ビタミン摂取状況は正常であった（ビタミンB12 値 $592.6 \pm 522\text{pg/ml}$、葉酸値 $10.5 \pm 5.5\text{ng/ml}$）。カロリー摂取も正常であり、炭水化物 43%、蛋白質 23.8%、脂質 33.1% であった。ビタミンA、B1、D、Eと微量元素（Zn、Mg、Se、Ca）の摂取量は低かった。蛋白、リン、ビタミンC、ビタミンB12、K、Pの摂取量は高かった。29.7%の患者がビールを、18%の患者が他のアルコール類を摂取していた。11.7%の患者が喫煙し、77.7%の患者が継続的に運動していた（平均/日 25.7 ± 20.9 分）。唯一、蛋白質（g/day; $r=0.25$; $p<0.005$）とビール（ml/day; $r=-0.46$; $p<0.05$）が総ホモシステイン値と相関していた。ビタミンB12($r=-0.29$; $p<0.05$)と葉酸($r=-0.12$; $p<0.05$)の摂取量は総ホモシステイン値と負の相関があった。運動と喫煙習慣は相関していなかった。</p> <p>結果：蛋白摂取量とビール摂取量が2型糖尿病患者における総ホモシステイン値を修飾している可能性があることが示された。</p>	